

病院検査における施設表の「稼働病床数」の数値記入に関する、過去1年間患者の収容を行っていない病床数の考え方について

数値把握の趣旨は、現実の病床稼働実態を把握したいというものです。

まず、休床の届出をしている病床は除きます。

その上で、患者を入院させるために準備していた病床数（一般的には許可病床数）から、個々のベッドに着目して、現実に過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床を除きます。

この数字が、稼働病床数になります。

注1 ABC・・・個々の病床について使用実態を検査で把握することは困難であるため、休床がない病院では、全ての病床を過去1年で少なくとも1日以上は使用したと病院側の説明があれば、許可病床数を記入することになります。

注2 1日平均入院患者数は、稼働病床数以下の数値になります。

注3 調査表における稼働病床数の数値により、現在の病床配分が直ちに影響を受けることはありません。